

拝啓 盛夏のみぎり益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは小誌のご依頼をご快諾くださり、誠にありがとうございます。巻頭を飾るにふさわしい先生のお原稿が頂戴できることを、編集部一同大変光栄に思っております。

つきましては、催促がましく恐縮に存じますが、過日お送りしたお原稿の執筆要項にも示しましたように、締切は六月末日となっておりますので、何かとご多忙とは存じますが、今週末七月十日までに、ご送稿くださいますよう改めてご懇願申し上げます。七月十日以降になりますと印刷のスケジュールの都合上、巻頭ページに穴が空くことになってしまいます。お力添えいただければ、幸甚に存じます。

まずはお願ひまで申し上げます。

敬具